

みずほCustomer Desk Report 2022/06/24 号 (As of 2022/06/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.20 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.99	1.0565	143.61	1.2252	0.6907
SYD-NY High	136.20	1.0580	143.99	1.2294	0.6927
SYD-NY Low	134.27	1.0484	141.45	1.2171	0.6870
NY 5:00 PM	134.97	1.0523	142.03	1.2262	0.6895

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,677.36	194.23	日本2年債	▲0.0900%	▲0.0100%
NASDAQ	11,232.19	179.11	日本10年債	0.2300%	▲0.0100%
S&P	3,795.73	35.84	米国2年債	3.0114%	▲0.0488%
日経平均	26,171.25	21.70	米国5年債	3.1403%	▲0.0924%
TOPIX	1,851.74	▲ 0.91	米国10年債	3.0879%	▲0.0711%
シカゴ日経先物	26,255.00	▲ 5.00	独10年債	1.4245%	▲0.1930%
ロンドンFT	7,020.45	▲ 68.77	英10年債	2.3085%	▲0.1830%
DAX	12,912.59	▲ 231.69	豪10年債	3.8540%	▲0.1630%
ハンセン指数	21,273.87	265.53	USDJPY 1M Vol	13.43%	0.02%
上海総合	3,320.15	52.95	USDJPY 3M Vol	13.17%	0.42%
NY金	1,829.80	▲ 8.60	USDJPY 6M Vol	12.37%	0.20%
WTI	104.27	▲ 1.92	USDJPY 1M 25RR	▲1.39%	Yen Call Over
CRB指数	296.69	▲ 7.96	EURJPY 3M Vol	13.33%	0.31%
ドルインデックス	104.43	0.23	EURJPY 6M Vol	12.75%	0.09%

東京	東京時間のドル円は135.99レベルでオープンし、仲値にかけて一時136.20まで上昇。しかしその後は、前日のパウエル議長の議会証言での米国リセッション懸念を背景にドル円は反落。また、中尾元財務長官が介入の可能性否定できないと発言したことを受けてドル売りが加速し、一時135.13まで下落。135円台前半では買い意欲が相応にあり、日経平均株価が下げ幅を縮小したことも相まって、ドル円も反発し、結局135.87レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、135.87レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ円高ムード。欧州株安と米金利の低下が進む中で一時135.25円まで売られる。やや値を戻して135.56レベルでNYに渡った。(ロンドン・ホールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	135.56レベルでNYオープン。朝方は米国2年債利回りが3%を割り込むと売り優勢となり134円台に沈む。また、米6月PMIが予想を下回ったことからドル売りが加速し、一時134.27をタッチ。本日もパウエルFRB議長の議会証言が行われていたが、特段サプライズは見当たらず、市場の反応は限定的。売り一巡後はじりじりと買い戻しが進んだ。パウマンFRB理事が「7月のFOMCで75bp利上げを支持」とのヘッドラインや午後には米国2年債利回りが3%台に回復する中、ドル円は134.99まで上昇。結局、134.97レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半で動意乏しくスタートするが、フランス、ドイツ、ユーロ圏の6月PMIが軒並み予想を下回ったことが伝わるとユーロ売りが加速し、一時1.0484まで下落。売り一巡後、1.0500近辺でもみ合い1.0506レベルでNYオープン。朝方は米6月PMIの結果を受けてドルが売られたことから一時1.0554まで上昇。しかし、ユーロ圏の6月PMIも予想下回っていたことから買いは長続きせず、上に往って来い。午後は1.05台前半でもみ合い、結局、1.0523レベルでクローズした。

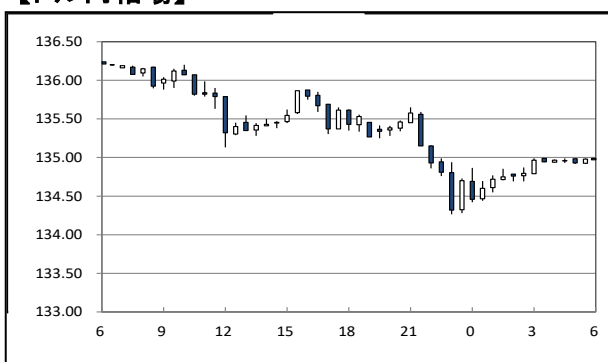
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月23日	17:00	欧 マークイット(製造業/サービス業/コンポジット)PMI	6月 52.0/52.8/51.9	53.8/55.5/54.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-Jun 229K	226K
	22:45	米 マークイット(製造業/サービス業/コンポジット)PMI	6月 52.4/51.6/51.2	56.0/53.3/53.0

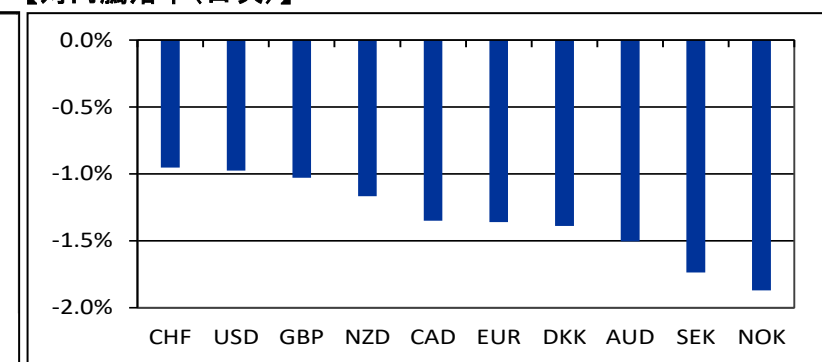
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月24日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	6月 2.5%/2.1%/0.8%	2.5%/2.1%/0.8%
	17:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	6月 92.8/99.0/87.4	93.0/99.5/86.9
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 50.2	50.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 590K	591K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.20-135.50	1.0470-1.0570	141.20-142.70

【マーケットインプレッション】

前日のドル円は東京時間に136.20の高値を付けた後、海外時間で今週の安値134.27まで下落する場面が見られるなどボラタイルな展開。135.99レベルでオープン後、仲値にかけて上伸するも、中尾元財務長官の「為替介入の可能性は否定できない」という発言を受け、円買い優勢に。反発後、135.87レベルで海外時間に入り、米経済指標の予想対比悪化を受け、ドル売りが加速し134.27まで下落。一巡後は134.97レベルまで値を戻しクローズした。本日のドル円は堅調推移を予想する。前日のパウマンFRB理事の「7月のFOMCで75bp利上げを支持」との発言や、米長期金利の反転上昇を背景としたドル買いが優勢となるだろう。なお本日は前回パウエルFRB議長もその内容に言及した米ミシガン大学消費者マインド、米新築住宅販売件数の発表を控えており、米景気動向を見極めるうえでこちらの内容にも注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・鈴木